

## 日本語版発行にあたって

ここに訳出された有機農業の基準と指標は「総合シンポジウム 羊をめぐる未来開拓者のつどい」の主要テーマの一つである。

現在真剣で持続的な努力をもって取り組む農業者が増えつつある一方で、「有機農業」の言葉が、生産、流通、消費のあらゆる面で恣意的に用いられ、混乱を生じ、困惑や挫折感をもたらししている。

それは、一つにはただ入り口が分からぬためであったとも言えよう。その意味で、これは私たちの今後、見いだしてゆく共通認識のための入り口を示してくれていると考える。

オレゴンとワシントンの先駆者たちの好意により、出版できるこの小冊子が、さまざまな論議をよぶきっかけとなり、いつの日か私たち自身の風土と実践的知識に根ざした独自の基準なり指標が、人々の共働の上に作られてゆくことを願ってやまない。

畜産の分野でまだあまり真の有機農業が見られない現状のなかで、羊に取り組む、少数ではあるが意欲において決して負けてはいない仲間たちが、その改革、実践の一步を踏み出してくれたらとも願っている。

この冊子の売上金は、手づくりのシンポジウムともいうべき私たちの集まりの運営資金として活用される。

訳文の転載を許可された足立恭一郎氏と月刊・農業富民編集部に感謝する。

一九八九年四月

羊をめぐる未来開拓者共働会議

# 有機農業の基準と指標

## CONTENTS

はじめに	8
「有機認定」の必要性	8
「有機認定」指標及び基準の作成目的	8
「有機認定プログラム」の運営	8
有機的生産(クラスO)認定に求められる要件・概説	9
OTCOG(オレゴン・ティルス認定有機生産)の指標	11
土壌有機物の管理	11
緑肥の管理	11
きゆう肥の管理	12
輪作の励行	13
耕記の方法	15
養分バランス	16
クラスO(有機的生産)認定基準	17
土壌改良法、肥料、生長促進剤	18
雑草防除	18
害虫防除	23
病害防除	24
種苗	25
かんがい	26
かんがい	27
クラスOLP(有機的環境で飼育される家畜・家禽)認定基準	27
飼育環境	27
飼料	28
飼料添加物	29
家畜の健康管理	30
繁殖についての基本的な考え方	31
畜産物	34
飼養管理記録の作成	35
クラスOP(食品加工)認定基準	36
読者への質問表	38